



特定非営利活動法人

チャレンジ企業支援隊 会報

Global Management Supporting Partners (GMS)

会報V o l . 13

平成 23 年 9 月 15 日

発行：理事長 山崎健一郎

T E L & F A X 0742-41-7839

編集（広報担当）：副理事長 馬場英彦

T E L & F A X 0743-75-1685

E - M a i l bamba@m4.kcn.ne.jp

巻 頭 言

（理事長 山崎健一郎）



3月11日の東日本大震災に続いて、9月3日には台風12号による記録的豪雨で亡くなった方、行方不明の方は100名近くになった。自然

の前に人間の無力さを思い知らされた反面、復興に向けた人の絆や、ねばり強さ、叡智の素晴らしさを強く感じている。

さて、チャレンジ企業支援隊も、平成15年12月に設立されて、間もなく9年目を迎えよとしている。これまで多くの方にご支援とご協力をたまわり、活動の輪も年々広がってきた。そして、本年2月には、「第1回地域再生大賞・優秀賞」を奈良県の代表として受賞する事が出来た。大変な名誉であると共に、その責任を痛感している。表彰式のシンポジウムでパネリストの大桃美代子さんから「モチベーションの高い所にイノベーションが起こる」とのコメントがあった。今後、チャレンジ企業支援隊も高いモチベーションの持続が大切である。「人的なネットワークと互惠互助の精神を大切にし、更に自己研鑽につとめ」厳しい社会・経済環境下で頑張っている企業・団体等を微力ながら支援・応援して行きたいと決意している。引続き、関係者の皆様のご支援とご鞭撻をお願いしたい。

第9回 年次総会を開催

（理事 宮地保富）

平成23年度の年次総会は、去る5月19日に、今年、奈良佐保短期大学内に新装オープンしたレストラン（鹿野園）で開催された。定刻の午後6時15分、司会の中尾理事から定款27条に基づき、総会は成立の旨報告があり、総会議長に山崎理事長が選出された。

次に議長から、第9回総会の開会宣言があった後、議事録署名人として、南部理事と宮地正会員の2名

が選出され議事に入った。

第1号議案：第8期の事業報告および事業会計収支決算の承認ならびに監査報告の件

会計担当の竹内理事から平成22年度の事業報告、会計財産目録、貸借対照表、収支計算書について報告があった。次に小島監事から監査報告の後、採決があり承認された。

第2号議案：第9期事業計画および事業会計収支予算の承認の件

続いて、竹内理事から平成22年度の重点事業5項目の具体的な活動計画および会計収支予算について趣旨説明があり、採決し承認された。

第3号議案：理事16名、監事2名の任期満了に伴う選任の件

議長から理事16名、監事2名の選任を諮ったところ満場一致で承認され、被選任者はその就任を承諾した。

次の第2部は、来賓の皆様にもご参加をいただき、馬場副理事長からパワーポイントにて平成22年度の活動内容について紹介があり、参加者から多岐に亘る活動成果に対して高い評価をいただいた。

引続き、恒例の懇親会が開催され、奈良県産業・雇用振興部 小島理事（奈良県中小企業支援センター専務理事）、奈良県くらし創造部 協働推進課 上山課長、奈良佐保短期大学 大石学長、奈良県中小企業団体中央会 村上事務局長などの来賓から激励のご挨拶をいただいた。懇親会参加者は、新装オープンしたレストラン

の特製料理に舌鼓を打ちながら、お互いの懇親を深めることができた。最後に、石田副理事長の発声で中締めを行い、8時30分に終宴した。



盛り上がった鹿野園での懇親会

第20回GMS経営勉強交流塾開催

(理事 モノづくり副部長 阪本徳男)

平成23年8月9日(火)、大阪府大東市にある株式会社山田製作所様を14名が訪問し、「**良い現場は最高のセールスマン**」をモットーに不況に強い企業の現場に学んだ。山田製作所様は、徹底した3Sをベースに人材育成、モノづくり革新、経営革新を達成され、経済産業省より**2009年度「元気モノ作り中小企業300社」**に選定されている。

プログラムは7時40分の朝の清掃、朝礼への参加見学からスタートした。引続き、山田社長様より徹底した3Sの実践について熱意溢れるご説明をいただき、質疑応答、意見交換を行った。

<山田社長のお話より>

- ・**山田製作所のスローガン**：「まずやる」、「全員でやる」、「例外はつくらない」、「理屈は言わない」、「出来ない理由は言わない」、「率先垂範」、「忙しくてもやめない」、「仕事を止める勇気を持つ」
- ・**3Sの真の目的**：「守るべき事を決めて、決めた事を守る」＝【企業文化】(活動の結果、綺麗な工場になった。しかしそれより大事なことは、活動を通じて全社員の価値観が一緒になり、何事にも全社一丸で挑戦する気持ちができた事)
- ・**経営指針書**：年度末、全員に①5年後の理想像、②会社の強み、弱み、③3年後の需要予測、④山田にとってチャンス又はピンチを提出させ、方針→目標→月別行動計画→経営指針書の策定
- ・**工場見学に対応する5時間のコストや、見学案内の1時間のコストより、従業員の1年後の成長を大事にしたい。**

<アンケート抜粋>

- ・リーダーのあり方について、実践的且つ具体的にご教示頂き、大変参考になった。
①信念を持ち、継続する事の大切さと、徹底する事の難しさをあらためて感じた。②社長自らの体験から紡ぎだされた「言葉」に圧倒され、明日のエネルギーを頂いた。③従業員を大切に思い、人材育成に熱心に取り組んでおられる。
- ・「全員で守るべき事を決め、全員で決めた事を守る」と言う、山田製作所様の企業文化の素晴らしさを肌で感じた事は、貴重な体験となった。

終了後、近所のカフェレストランで、山田社長様

にもご参加頂き、本音の意見交換を実施し交流を深めた。



参加者一同(レストランにて)

マーケティング部会の活動報告

(理事 マーケティング副部長 辻谷禎弘)

(1) 平成23年前半 月例会の主な議題

当部会では、毎月定例会を開催し毎回約10名の会員が参加、様々な議題で研究討議を重ねている。本年は、1月からゲストで参加頂いた企業様によるプレゼンテーションをお伺いし、新製品の販路拡大や新市場の開発手法、起業早々の事業展開方向等をテーマに、専門的視野でミーティングを重ね多角的なご相談支援を行ってきた。主な議題は次のとおりである。

①新製品「TANYO 液晶フィルム」の販路拡大研究

- ・(株) オックスプランニング (1月・5月)

新市場開発のアイデア、販路関連ご紹介等の支援

②「3D写真」の事業化企画・研究

- ・グローバル3D (4月・5月・6月)

3D写真の事業化手法のアイデア、方向付けを検証

③大学生の起業活動、コラボ事業の実施報告と検証

- ・同志社大学 学生によるプレゼンテーション (7月)
- 寺院・旅行社・弁当会社のコラボ事業実践経過等

④食品事業ビジネスの起業、顧客市場開拓の研究

- ・飛鳥情報(株) (7月・8月)

新ネット販売システムの構築を目指す事業展開支援

⑤大阪市立デザイン教育研究所 学生の成果報告

- ・国際学生コンペでNY世界大会に出席 (8月)

(2) 企画デザインが具体化した主な案件

①宇陀商工会様

「伊勢本街道せんべい」
パッケージデザイン
(左の写真)



②森庄銘木産業(株)様

展示会用パネルデザイン、
営業用パンフレット

奈良県受託事業の取り組み

(理事 事務局長 南部英治)

チャレンジ企業支援隊では、23 年度より実施される『奈良県新しい公共支援事業』の中の『奈良県中間支援組織新設・強化事業』に応募し、この度採択された。この事業は中間支援が行われていない、または中間支援の不足している分野や地域における、新たな中間支援業務を実施することでNPO等の活動を促進し、定着させることを目的としている。

当NPOの提案は、《NPO 等に対する経営力強化支援の実施》で、具体的支援内容は次のとおりである。

- 1) 奈良県下のNPO等を対象に2ヶ所でセミナーを開催する。(9月)
- 2) セミナー参加団体の中から10団体を選定、集合研修、訪問支援、相互交流会、個々のスキル改善の支援を行う。(9月～3月)

氏名	所属	役職	メールアドレス	電話番号	ファクス

セミナーのご案内

- 3) 次年度に向けて事業計画書の作成支援を行い、その後についても年間フォローを行う。(3月～次年度)

又、同時に募集された『奈良県新しい公共の場づくりのためのモデル事業』で、「NPO法人地域活動支援センターぷろぼの」が受託した《中古PCの有効活用を目指したなら福祉3R ネットワーク事業》にも、当NPOがメンバーとして参画する。

一方、『奈良県障害者働きがい支援事業』については、これまで3年間工賃向上を目指して支援してきた30事業所に対して、今年度も事業の取り組みと推進状況を継続してフォロー支援していく。又、今年度工賃倍増5カ年計画の最終年度を迎え、奈良県が実施する『1施設1品づくり促進事業』の促進チームに専門家の派遣を要請されている。この事業は「売れるものづくり」や「売れるシステムづくり」に意欲ある複数の障害者就労支援事業所が、個々の事業所の強みを生かしながら事業所間で連携し、特色ある商品づくりや販売ルートの確保を目指している。

このように奈良県に関係した事業は年度ごとに拡大しており、当法人としても期待に沿えるよう支援の内容充実と体制の拡充を図っていく。

K I A Cからの案件を産学共同で支援

(副理事長 マーケティング部会長 馬場英彦)

今年の4月、T社(本社:京都)から、関西産業活性協議会(K I A C)に、国内で若者に人気を博している携帯電話に貼り付けるシール(蒔絵風転写ラベル)を中国市場向けに発売するために、新しいデザインシール開発のためデザイナーを紹介して欲しいとの要望があり、当方に照会があった。

そこで、私が勤務する大阪市立デザイン教育研究所のデザイン学生の産学共同課題として取り組む事にした。

T社責任者より、中国の若者市場に対してシールを普及するため、市場調査も含めて8月に上海にて展示会の出展に間に合わせて欲しいと要請を受ける。

5月に学生から提出された49名・65件のデザイン企画書から3名が選定された。スケッチ段階から最終デザインの校正まで何度もT社とのやり取りの中で、6月に最終10点のデザイン試作品が完成し、8月の上海展示会に出品した。中国人の反応を多かった順に、①珍しい、興味がある ②デザインが綺麗、美しい ③シールの製品がすごい

年齢は20代～30代で、主に女性が購入。今後さらに、中国の方がどのような柄を好み、流行にのったデザインを作っていくかがこれからの課題だと考えるが先方からは大変ご満足して頂けた。



上海での展示風景

キャリア教育に対する提言

(理事 HRM副部会長 岡田佳久)



昨今、大学をはじめ学校教育において、キャリア教育が導入されている。キャリア教育とは、「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に

進路を選択する能力・態度を育てる教育」(平成11

年12月の中央教育審議会答申)のことを言うが、100の大学があれば100通りのキャリア教育(授業)が行われている。例えば、1年生のみ、1・2年生のみ、1～4年生までカリキュラムが整理されている、1クラス200人、1クラス50人以下の少人数制などで、授業内容も各大学によってバラバラである。

具体的には、就職支援、インターンシップ、実践教育(社会人にインタビュー、企業と連携、社会人基礎力、社会について知る)、コミュニケーション能力、モチベーションUP(大学生活の充実)、自立支援、建学精神に基づいたプログラム、人生観・職業観の醸成などである。

また、キャリア教育(授業)は、テストなど点数をつけるのが難しく、授業の成果がハッキリと見えにくい部分が多い。さらに、就職環境も悪化していることから、キャリア教育について模索している大学が多いのが現状である。まさに、キャリア教育は転換期に差し掛かっているのが現状である。

しかし、就職環境が厳しいと言われているが、基本的能力(基礎学力)の欠如、働く意識が低い、企業が求める人材に達していない場合や、大手志向(安定志向)が強い傾向がある。就職活動時期の面接対策などの就職対策も必要だが、それ以前に土台となる部分が欠けているケースも多々見られる。したがって、1、2年次のキャリア教育において「職業観の醸成やコミュニケーション能力の向上」「社会の現状を知る」「大学生活を充実させる」ことが重要であろう。

今後の課題としては、基礎学力の構築、少人数教育での実施(50人以下の少人数授業の方が、学生の理解度は高まる)、大学側とキャリア授業担当者の二人三脚によるキャリア授業の構築、習熟度別クラスでの実施(学生のキャリアに対する意識が違うため、そのレベルに合った内容に授業)、大学生の現状と社会の現状が理解できる講師の確保などである。

我々、チャレンジ企業支援隊も、関西産業活性協議会と連携して、今の時代にあった実践的なキャリア教育を各学校様へ提供していく義務があるのではないだろうか。そのためには、インターンシップや現在、中小企業支援などで実際に現場で戦っている専門家の英知を結集して、プログラムを開発することも必要であろう。

昔のように、大手企業に就職できれば一生安泰という時代は終わりを告げている。高度経済成長時代に、社会人時代を送ってきた方々の思い出話では、学生は真剣に耳を傾けてもらえない。現状に合わせた、未来を見つめるためのキャリア教育の提供が急がれている。

チャレンジ企業支援隊 平成23年活動内容

- 1月 ・会報12号発行
- 2月 ・「GMS新春講演・交流会」開催
講演:「最近の中国事情」
講師:中国国際放送技術シンポジウム
国際委員 阪本徳男氏
・第1回地域再生大賞で、奈良県代表として「優秀賞」を受賞
- 3月 ・「第19回GMS経営勉強交流塾」開催
テーマ「改善活動とモノづくり人材の育成」
場 所:ニッタ(株)
・けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会「マネジメントセミナー」終了
- 4月 ・GMSホームページのリニューアル完了
- 5月 ・第9回総会開催
- 7月～ ・奈良県より23年度「奈良県中間支援組織新設・強化事業」を受託
・奈良県「新しい公共モデル事業」なら福祉3Rネットワーク事業に参画
(受託者:NPO法人地域活動支援センターぷろぼの)
- 8月 ・「第20回GMS経営勉強交流塾」開催
テーマ:「良い現場は最高のセールスマン」
(徹底した3S)
場 所:榎山田製作所
- 9月 ・「新しい公共」実践セミナー開催
場 所:橿原市・奈良市
・会報13号発行
- <1月～8月、各部会を毎月開催>
 - ・モノづくり部会 : 第76回～第83回
 - ・マーケティング部会: 第48回～第55回

<お知らせ>

ホームページをリニューアルしました。

是非ご覧頂き、ご感想・ご意見をお聞かせ下さい

ホームページアドレス: www.npo-gms.com